

令和元年度

## 第2回「あいパル」運営委員会報告

日時：令和元年12月5日（木）19:00～20:45

場所：上戸田地域交流センター「あいパル」研修室

出席者：上戸田町会連合会 3名、本町商店会 1名、一般公募 2名、  
サポーターズ倶楽部会員 3名、  
戸田市3名（福祉総務課、協働推進課、生涯学習課 公民館担当、  
生涯学習課 図書館担当）、  
指定管理者「フレンドシップ上戸田共同事業体」 3名  
以上 計15名

### 開会あいさつ

前回に引き続いて、あいパルの設置目的や施設としての役割について、考えを深めていただき、これらの目的を達成するために必要なことを協議していただきます。

「男女共同参画社会の推進」は日常の中での役割として、「避難所運営」は非常時の役割として、どちらも大切なことです。ぜひ皆さまのいろいろな考えを教えてくださいたいと思います。

### 本日の議題1：「男女共同参画社会の推進拠点」について

「とだ あんさんぶるプラン」では、あいパルが男女共同参画の推進拠点であることを知っている人を増やすことが計画の指標の一つになっている。あいパルではこれまで様々な事業を行ってきたが、さらに認知度を高めるために、どのようなことが必要か。何かアイデアはあるでしょうか？

- ・施設を利用する際に、1階の男女共同参画コーナーやパープルリボンの活動などは目にしている。コーナーの展示については、内容によって分けられているとよいかもしれない。
- ・フォーラムをやっていることは知っていたが、男女共同参画に関係する事業だとは知らなかった。男女共同参画の事業だとわかるような、共通したカラーやロゴなどがあると分かりやすいのでは。
- ・「男女共同参画」という言葉だと、漢字ばかりで固いイメージがあり、敬遠する人もいるのではないか。「あんさんぶるプラン」だと、ひらがなが多く柔らかいイメージがあるので、代わりに言葉として使えないだろうか。
- ・以前は「ビリーブ」という独立した建物があり、様々な団体が使っていた。複合施設になったことで、役割が見えづらくなってしまったのではないか。
- ・専門の施設と複合施設、それぞれの長所と短所がある。複合施設では、他の利用目的で来た人が、興味・関心を持つきっかけになる。
- ・「男女平等」から「男女共同参画」へと言葉は変わったが、「女性の地位向上」というイメージは変わらない。そのような「男性」「女性」と分けるような意識もなくすることが最終的な目標になるのではないか。
- ・拠点であるということは、何か悩みがある時に、あいパルに行けば話を聞いてもらえる、ということを誰もが知っている、ということが大切。
- ・男性と女性の身体的な差はどうしてもある。お互いがより理解し合うことが大切になる。
- ・フォーラムなどの事業は、既婚者から上の年代が対象のイメージがある。独身や若い世代をターゲットにしたイベントがあってもいい。
- ・保育士など、職業によっては男性なりの苦勞もある。男女に関係なく、仕事上のスキルアップ講座などをやっても面白いのでは。
- ・これまでの起業支援の講座は女性を想定している場合もあったが、今後は夫婦での参加を呼び掛けてもいいのかもしれない。

## 本日の議題2：避難所の運営について

災害への備えや、スムーズな避難所運営について、運営委員会としての考えをまとめて、市民の皆さまにお伝えしたい。避難所として必要だと思うものや、地域の人に当事者として関わってもらうための工夫などについて話し合いたい。

- ・普段から避難訓練をすることが大切。何もしていないと、地元の人が避難してきたとしても、何をやっていいかわからないのでは。
- ・避難所開設の場合は市の職員が出動するが、市の職員でも地元の人が少なく、本部からの指示がなくては動けないことも多い。
- ・市として、「戸田市地域防災計画」がある。市民として、そういった計画があることは知っておくべきではないか。また、町会には自主防災組織がある。あいパルという施設と、町会、行政、一緒に取り組むことが大切。
- ・施設のスタッフだけではできないことや手が回らないこともある。避難者が自分の強みを活かすことで、お互いに助け合うこともできるのではないか。
- ・避難所の受付で、できることを教えてもらうとよいのでは。協力してほしいことをリストにして、誰もが見られるようにするとわかりやすい。なにかしら役割があった方が、一体感も出る。
- ・「できますゼッケン」(自分ができることを書いて服などに付けるゼッケン)などを用意しておく、何かあった時に声をかけやすい。お互いに助け合うという意識も生まれやすくなる。
- ・非常時に上手く対応するためには、通常時から話し合い等を通してお互いに理解を深めておくのがいいと思う。市のルールを踏まえた上で、あらかじめいろいろな事を施設の利用者と話し合う機会があるといい。

- ・携帯電話の充電器があるとよい。手回しや太陽光などで発電できるタイプのもの。情報が少ないと不安になるので、発電関係の備品・設備は充実していた方がいいと思う。
- ・町会に加入していない人もおり、災害時の情報共有の難しさがある。

### <協議の結果>

男女共同参画については、あいパルを利用している方には情報コーナーやフォーラムが周知されている。さらにロゴやカラーのようなもので印象付けたり、「あんさんぶるプラン」という言葉で広めていけると良い。これまで参加していない層に対し、ターゲット別の企画等、新たな情報発信をしていく。

避難所運営については、普段から話をすることや、自分にできることとみんながやって欲しいことを上手くマッチングすること等により、避難所に訪れた人がお客様ではなく当事者として行動していただく。

## 閉会あいさつ

本日も様々な意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。大変有意義な時間でした。あいパルでは、1月末から2月にかけて、「みんなの防災 DAYS」というイベントを開催予定です。楽しみつつ、地域の防災を考えるよいきっかけになると思います。1月号のミニコミ誌にて特集を予定しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。

### 次回開催の日程

2月20日(木) 午後7時～

「あいパル」運営委員会は傍聴できます。